

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市若林図書館
2	指定管理者	株式会社 ヴィアックス
3	指定期間	平成30年4月1日 ～ 令和5年3月31日
4	施設の利用状況	《利用者数》 平成30年度：167,742人団体〔個人：167,357人、団体・文庫：385団体〕（前年度比101.4%） 平成29年度：165,505人団体〔個人：165,102人、団体・文庫：403団体〕 平成28年度：170,382人団体〔個人：170,022人、団体・文庫：360団体〕
		《事業》 仙台市若林図書館の運営管理
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 95,220千円 (91,163千円) ・ その他市が負担した費用 17,575千円 (17,167千円) 《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 27千円 (30千円)
		()は前年度決算額
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート 実施期間：平成30年12月9日（日）～12月22日（土） 利用者懇談会 開催日：平成31年3月15日（金）

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	図書館の設置目的を踏まえて策定された、施設運営上の基本方針に基づき管理運営されており、全館共通の業務や行事も適切に行われている。サービスの質の向上や利用促進のための取り組みもなされている。	24/24
II 施設の運営管理体制	職員の勤務実績や配置状況、また、施設の開館状況は仕様書のとおり適切である。指定管理料も適正に執行されている。個人情報の取り扱いについて、イベントチラシに収集した個人情報を目的外使用しない旨明記されている。情報システムのセキュリティ対策については徹底している。危機管理マニュアルを作成し研修も実施している。災害発生時の訓練も関係機関と合同で適切に実施されている。ヒヤリ・ハット集を作成している。	30/30
III 施設・設備の維持管理	備品台帳が整備されており、物品および設備は適切に管理されている。環境へ配慮した取り組みがなされている。	17/17
IV サービスの質の向上	館内の書架やカウンター周辺等の表示についてデザインや色を統一したものに刷新した。	28/27
V 施設固有の基準	子ども読書推進活動においては、宮城県の「平成31年度子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体(個人)の文部科学大臣表彰」の被表彰館として選出される取組みを行った。のびすく若林や「新寺こみち市」で「出前おはなし会」を定期的実施した。ビブリオバトル中学生大会を開催。紹介された資料・関連資料の展示を行った。「ぬいぐるみおとまり会」でおはなし会と本の貸出を行った。南小泉小学校で、読み聞かせとストーリーテリングを実施。	17/16

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由
加点評価	—

四 評価総括

《指定管理者（株式会社 ヴィアックス）による自己評価》
<p>平成30年度は、若林図書館の持つ特徴、地域特性を活かし「地域・市民に役立ち、共に成長を続ける図書館」の実現を目標に運営を行った。</p> <p>自主事業では、引き続き地域連携事業を中心に利用促進を図った。「読み聞かせボランティアサークルほんわか」と協働し、新寺こみち市での「ヤギさんおはなしかい」や「出前おはなし会」として南小泉児童館やのびすく若林などの児童施設に出向きおはなし会を実施し、子どもへの読書推進活動に積極的に取り組んだ。また、震災関連事業として、せんだい3.11メモリアル交流館と連携してトークイベントを実施したほか、若林区文化センターや若林区中央市民センター、南小泉児童館など近隣施設との連携事業も継続して行った。</p> <p>指定管理者独自の事業としては「本の世界に入ってみよう!」、「情報リテラシー支援講座」、「絵本作家講演会」、「スポーツ講演会」、「終活講座」など幅広い年齢層に向けた多様な事業を実施し、既存利用者の満足度をあげるとともに新規利用者の獲得に向け事業を実施した。</p> <p>職員研修では、接遇研修や個人情報保護研修といった全従事者対象の研修から、今年度からテレビ会議システムを導入し専門業務に対応した多様な研修を実施したほか、仙台市図書館や宮城県図書館主催の研修にも積極的に参加し、専門性の向上を図った。</p> <p>施設管理面では、若林区文化センターの設備改修工事に伴い二か月間にわたり施設全体が休館となったが、臨時の予約資料受取窓口を開設するとともに、定例おはなし会や自主事業を近隣施設で振替実施するなど工夫し、限定されたサービスではあったが利用者に継続してサービスを提供することに努めた。また、休館期間を有効に活用し、利用者アンケートでも要望のあった児童トイレの洋式化工事や近年利用が多い大活字本の棚の増設、YAコーナーの拡充、館内サインの刷新などより快適な読書環境を提供する取組みを行った。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>平成30年度は、施設の運営面では、2ヶ月間にわたる休館期間を利用して、利用者から要望のあった児童トイレの洋式化工事や館内サインの統一・刷新と大活字本用書架の増設を行い、利用者に快適な読書環境を提供する取組みを行い、サービスの向上に努めた。</p> <p>図書館事業では、地域イベント「新寺こみち市」における「ヤギさんおはなしかい」の継続、若林図書館臨時休館中も近隣施設で定例おはなし会や絵本作家講演会を実施するなど地域のつながりを重視した事業展開を行い、子ども読書推進活動においては、宮城県の「平成31年度子供の読書活動優秀実践校・図書館・団体（個人）の文部科学大臣表彰」の被表彰館として選出される取組みを行った。また、若林図書館職員による手作り講座の開催など、幅広い層が参加できる事業を行うことで、多くの市民にとって親しみの持てる図書館づくりに取り組んだ。</p> <p>職員研修については、本社テクニカルサポート室が、人材育成方針に即した充実したカリキュラムを提供している。若林図書館では、昨年度からテレビ会議システムを導入し、本社の研修を図書館内で受講できる仕組みを整えた。特に実務に役立つ研修に積極的に職員を参加させたほか、館独自として、防犯講座を実施し、不審者への対応や心構えを全職員で学ぶなど、充実した研修体制は高く評価できる。</p> <p>今後より一層、民間のノウハウを活かした図書館利用促進にかかる事業実施による利用拡大とともに適正な施設運営を期待する。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：教育局市民図書館